

# (別紙2) 地デジボランティアの活動事例

## 1 ボーイスカウト

埼玉・越谷のボーイスカウト団が、地上デジタル放送の声かけ活動を3月13日に予定していたが震災により中止。

4月24日(日)、新越谷駅前にて、**20名でチラシ約400枚を配布しつつ、デジタル化を促す声かけ活動を行った。**



## 2 民生委員

静岡県下の**民生委員20団体約2,500人**が民生委員の活動として対象世帯を訪問した際に、デジタル化を促す声かけを実施。

その際、「カルテ」により受信状況を確認するとともに、**デジサポによる訪問の希望を確認し、希望のある方はデジサポ静岡へ連絡し、後日デジサポより戸別訪問を実施。**



## 3 ヘルパー(入浴ケアサービス)

青森市で入浴ケアサービスを行う事業者の**ヘルパー12名**から、訪問入浴利用のご家族の方に対し、**チラシ約100枚と相談先電話番号を記したカード**を配布しながら内容説明、地上デジタル放送のPR。

ほとんどのご家庭は地上デジタル放送に対応していたが、**地デジ詐欺**については知らない方が多く、大きな反響があった。

## 4 公衆浴場

新潟市内の20浴場(市公衆浴場共同組合加入)で、**ポスター・チラシ・カードによる周知を実施(チラシ約400枚、カード約200枚)。**

街の銭湯は、地域の住民、特にお年寄りの社交場。銭湯の経営者は、街の情報通で、入浴客の殆どの方と面識があり、世間話の中で声掛けを実施。

また、**アナログテレビの終了とデジタルテレビへの対応の必要性、分からないことはデジサポに相談すべきとの声かけも実施。**

## 5 乳飲料製造販売会社(自治体の福祉事業との連携)

福井市の長寿福祉事業「一人暮らし高齢者見守り事業」を乳飲料製造販売会社(ヤクルト)が受託。

**一人暮らしで65歳以上の高齢者のうち見守りが必要と思われるお年寄り約500人に乳酸菌飲料を配布する際に、デジタル化を促す声かけと「地デジで困ったことはデジサポへ」のチラシを配布。**



## 6 タクシー

秋田県ハイヤー協会加盟の**タクシー事業者107社、1,780台**の乗務員が、乗客に対してデジタル化がお済みであるかどうかを伺い、未導入の方や、どうすれば良いかわからない方へは、カード又はチラシを配布。

